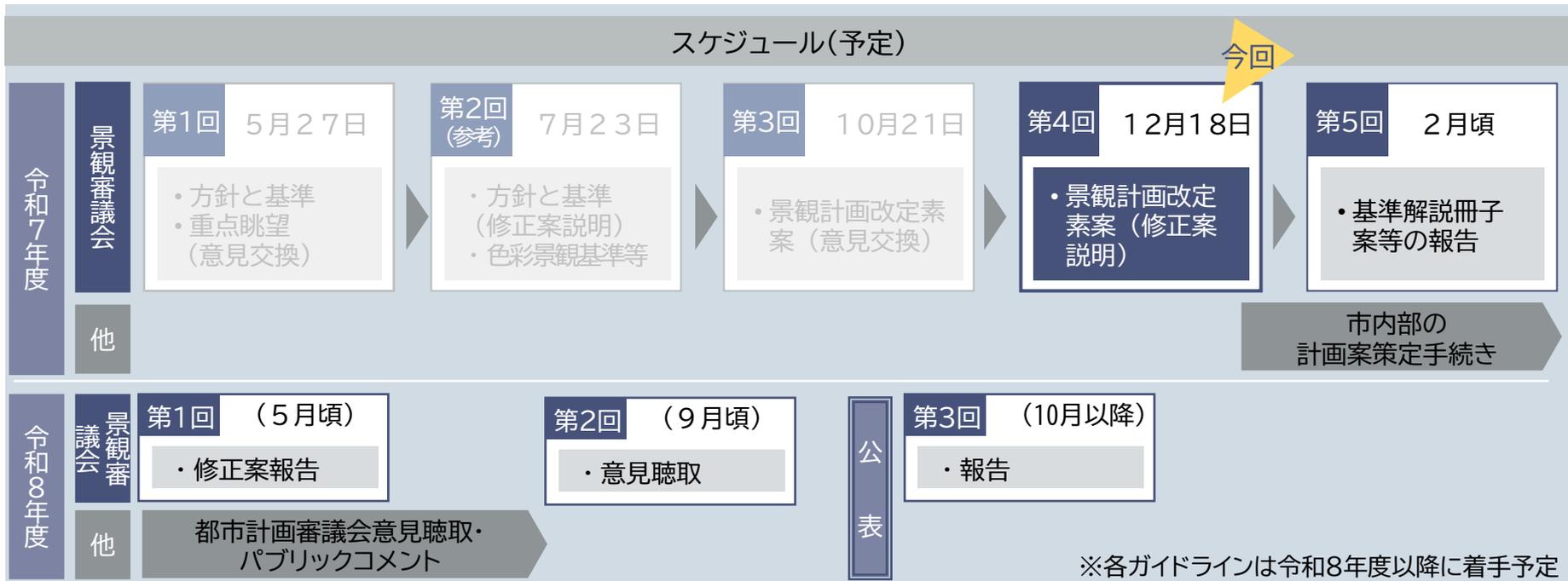


札幌市景観計画の改定について

議事資料の構成

- 1 振り返り(令和7年度第3回審議会での委員意見)
- 2 景観計画の素案について(別冊)
- 3 景観計画素案の概要版について(別冊)



1 振り返り(審議会での委員意見)

- 令和7年度第3回審議会では、景観計画素案についてご説明し、ご意見をいただいた。

分類	ご意見	回答・対応の方向性
計画全体	記載内容を理解しやすい写真などを適宜入れてはどうか	写真を追加するなど、わかりやすさに努めてまいります。
計画全体	計画で目指しているところがもう少しわかりやすいとよい。例えば、札幌の特徴としてみどりが豊かであることがあげられ、現在豊かなのは市街地を囲むみどりだが、それが市内の建物により見えにくくなるという現状があるので市街地の増やすことでみどりを豊かにしていく、ということであればつながりが理解できる。この計画があることで、何を達成できるのか、という部分がもう少し見えることを期待する。	今回は札幌らしさを際立たせる眺望、夜間景観、雪や冬季の景観に着目し、方針を設けています。目指す姿や方針のわかりやすい記載に努めてまいります。
計画全体	計画書はボリュームがあることから市民向けと分けて考えるという方法もあり得る。	本書とは別に、内容をお示しした概要版を作成する方向です。
目次	どこを見たらよいのか誘導する仕組みを入れてほしい。	目次の前に、全体構成を表す図と簡単な案内を記載しました。
目次	製品説明書のようにクイックスタート版と詳細版と分けるとよいのではないか。また、必ずしも本書を全部読ませることにこだわらず、「市民の方」「事業者の方」別に読んでほしい部分を示す、QA方式にするということもありえるのではないか。これらを視覚的に示すことも検討してはどうか。	
目次	目次で内容がわかるように工夫してはどうか	
目次	事業者が届出・協議の際に確認しておく必要がある基準にすぐたどり着くような仕組みがあるとよい。	
目次	章の関係性を図にしてはどうか。	
目次	目次にサブタイトルをつけてはどうか。	
目次	ダイアグラムを入れてはどうか。	
第1章	都心などの空間全体の方向性を理解しながら景観施策を理解できるよう、ほかの空間系ビジョンとの関係性を図示してはどうか。	

1 振り返り(審議会での委員意見)

- 令和7年度第3回審議会では、景観計画素案についてご説明し、ご意見をいただいた。

分類	ご意見	回答・対応の方向性
第4章	計画の要点が目指す姿などにもうすこし現れるとよい。または、第1章のほかの計画との関係性の部分にも表現ができるとよい。	目指す姿の部分の記載を工夫いたします。
第6章～第9章	今回の都市の魅力の取組部分が6章以降の部分で分かりにくいので、さらに目立たせる工夫があるとよい。	第10章を設け、取組を説明することとしました。
方針	「都市の魅力を踏まえた」の「踏まえた」がもっと能動的に創出していこう、という方向性が伝わるような言葉に変更するとより良いと考える。	表現を「都市の魅力向上を目指す」に修正しました。(計画案本書P15ほか)
基準	方針の内容と基準がつながっているところは番号を揃えるなど、方針との対応をわかりやすく表現する工夫があるとよい。	第5章の各方針にも附番をして、基準と対応がわかるようにいたしました。
基準	歴史の記憶の継承については、素材の利用やデザインの継承にとどまらず、空間構成の継承なども手法としてあり得るので、それが伝わるような表現としてほしい。	基準を修正しました。
基準	要素ごとマニュアルではなく、通りに向かう空間全体をデザインする姿勢が伝わるような記載を心掛けてほしい。	ご意見を参考に検討してまいります。
指標	いとなみの軸や北3条通の東側、札幌駅前通の大通以南など、都心のまちづくり計画の軸で今回景観形成の対象とする視点場としていない部分についても、観測・評価する視点場としてはどうか。	景観形成の対象としていない視点場についても、定点観測をする方向で検討してまいります。
別表	別表1も別表2のように区域図、対象行為、基準の順だとわかりやすいのではないか。	記載を修正いたしました。
巻末	まちづくりに関する関係施策の取組を巻末などに列記してはどうか。	解説本等に記載する方向で検討いたします。
その他	計画をデジタルで情報発信する際に、相手が知りたい情報にたどり着きやすくなるような工夫をしてほしい。また、スマートフォンなどで見ることも想定するとよい。	ご意見を参考に検討してまいります。
その他	計画が実際に使われたときのケーススタディをしてはどうか。	ご意見を参考に検討してまいります。